

平成30年度 第3学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ★自分の伝えたいことを整理し、順序立てて段落を構成し、文章を書く力を育てたい。 【工夫】 ☆段落分けの確認を必ずするようにして、段落構成に慣れるようにした。大事だと思うところに線を引いて読み、段落構成について理解を深められるようにした。	C 言葉の吟味 ・単元内容や教材に合った分かりやすい発問を用意し、意識して段落構成できるようにする。 F 評価 ・読みやすい文章や伝えたいことが分かりやすい文章をみんなで選び、共有するようにしていく。
社会	【課題】 ★地域社会の特色や相互の関係等について考える力や表現する力を育てたい。 ・一人一人が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・地域のマップなどを、何のために作るのかという目的意識をもって学習出来るようにした。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・めあてを明確に示し、ポイントを確認しながら理解を深めた上で取り組む。 D 補助資料の活用 ・タブレットなどのICTを活用する。
算数	【課題】 ★新しく学習することを考え、見通しをもって学習できる力を育てたい。 ・自分の考え方を言語にして、わかりやすく伝えることができるようにする。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・毎時間のめあてを提示することにより、本時の活動を明確にし、学習を進めるようにした。 ・児童の実態に応じて、ヒントを出したり、支援の方法を工夫した。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・各単元の導入には、既習事項を想起させ、今までに学習したことを生かして課題に取り組めるようにする。 B 教材の開発と工夫 ・言語による説明の書き方を全体で確認した上で、自力解決に取り組ませる。また、個に応じて、穴埋め→短文→全文のように段階的に指導していく。 ・話し合いの仕方を「結論→理由(→結論)」とシンプルにパターン化し、活動できるように工夫する。 D 補助資料の活用 ・デジタル教科書などICTを活用する。
理科	【課題】 ★自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養えるようにしたい。 ・見出した問題について興味・関心をもって追究し、見方や考え方を養う。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・観察カードは継続して使える形式にし、観察結果を積み重ねて比べられるようにした。	C 言語の吟味 ・分かったことや気付いたことをワークシートや発表などを通して自分の言葉で表現する機会を増やし、学級全体で共通の認識となるように結果をまとめていくようにする。 D 補助資料の活用 ・実際には観察できない植物や動物などについては、映像を見せることで詳しく知れるようにする。
体育	【課題】 ★友達と協力しながら進んで取り組み、高め合える活動ができるようにする。 ・友達と話し合いながら技や攻め方などについて考えることで、楽しく運動できるようにする。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・チームでの作戦タイムや作戦ボードを活用した。 ・話し合いによりルールを子供自身に考えさせる活動を行った。	E 相互の学び合いと手立て ・友達同士でアドバイスし合ったり、褒め合ったりできるように、学習の視点やポイントなどを提示する。 F 評価 ・学習内容に対して考えを深めていけるよう体育ノートを作り、毎時間の気付いたことや感想などを積み上げていく。学習の深まりに繋がりそうなことを学級でどんどん共有していく。
道徳	【課題】 ★友達の考えを取り入れながら自分の考えを見つめ直せるようにしたい。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・道徳ファイルを作り、自分の考えを積み重ねていけるようにした。	E 相互の学び合いと手立て ・座席配置を工夫し、お互いに意見を伝え合いやすくする。 ・場合に応じて相互指名を行い、友達の意見を予想したり考えたりすることができるようにする。 A 指導目標の明確化と学習の見通し ・道徳の学習の学び方を学級で再確認し、どんな意見も間違いではないことを伝え、より自由に思考・発言できる環境をつくっていく。

